＜常駐プログラムの起動について＞

メールの監視、通知を行う常駐プログラムの起動方法は

- MailgaMail から「開始」ボタンを押す。
- 常駐させるプログラムのショートカットをスタートアップに入れる。
- 常駐させるプログラムをタスクスケジューラに登録する。

の 3 通りの方法があります。

常駐プログラムの起動において、タスクスケジューラに登録した場合、ログインする必要はありませんので複数のユーザで 1 台の PC を共同使用している場合はこの方法が便利と思われます。
一人専用の PC で電源投入時に自動ログインする PC（自宅 PC は殆どこのケースと思われます。）の場合はスタートアップにショートカットを入れても同じです。

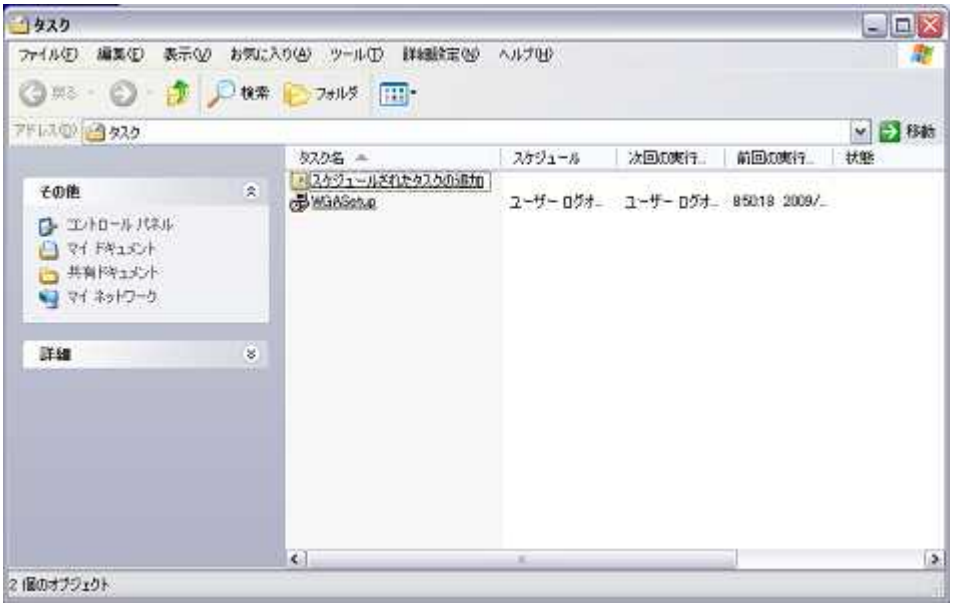
1．起動方法

(ア) MedilgaMail から「開始」ボタンを押す。
特に何もする必要はありません。ログイン状態から MedilgaMail をスタートメニューから起動し、プログラム上から「開始」ボタンをクリックします。
監視が開始された後、MedilgaMail を終了してもメール着信の監視及び通知は継続して行われます。

(イ) ショートカットをスタートアップに入れる。
インストールしたフォルダ（通常 C:¥Program Files¥Synergic Inc¥MailgaMail）から「MailgaMailX.exe」を右クリックしてショートカットを作成し、スタートアップ（例：C:¥Documents and Settings¥All Users¥スタート メニュー¥プログラム¥スタートアップ）に入れます。この場合、スタートアップが有効なログイン状態である必要があります。

(ウ) タスクスケジューラに登録する。
以下の手順で登録します。

スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システム　ツール」→「タスク」でタスクスケジューラを起動します。



「スケジュールされたタスクの追加」をクリックし、「タスクウィザード」を開きます。

タスクウィザードの設定手順は以下の通りです。

「次へ」をクリックします。

「参照」をクリックして、プログラムをインストールしたフォルダを開きます。

MailgaMailX.exe を選択して「開く」をクリックします。

タスクの実行を「コンピュータ起動時」にして「次へ」をクリックします。

ユーザ名とパスワードを入力して「次へ」をクリックします。

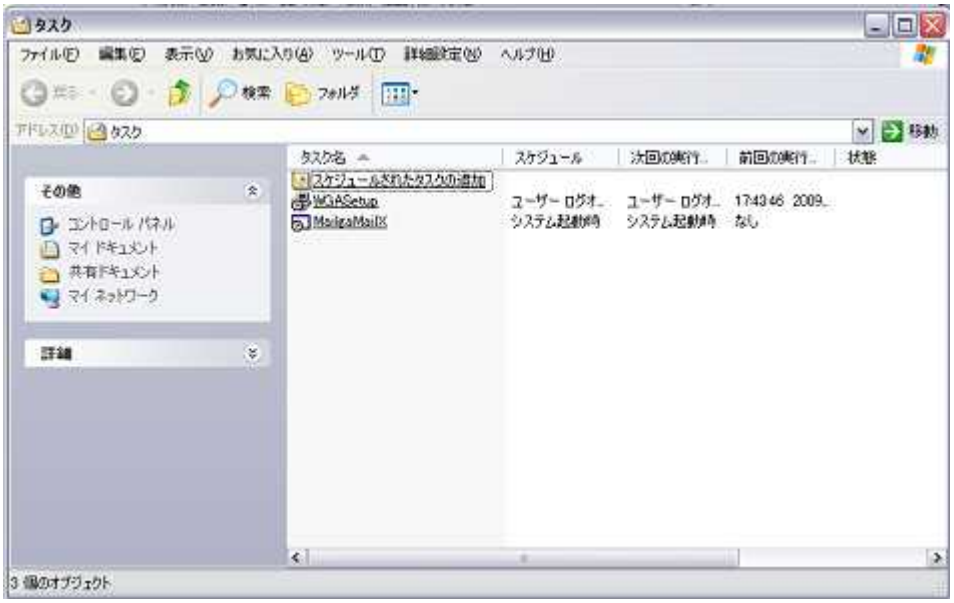
チェックボックスにチェックを入れ、「完了」をクリックしてタスクスケジュールに登録します。

「タスク」タグをクリックし、「実行する」にチェックが入っていなければチェックを入れます。

「スケジュール」タグをクリックし、タスクのスケジュールが「システム起動時」になっていることを確認します。

「設定」タグをクリックし、全てのチェックボックスをオフにします。

以上の作業が完了したら「OK」をクリックします。



「MailgaMailX」が登録されたのが確認できますので、「MailgaMailX」を起動するためにシステムを再起動します。

（＊）全ての場合において複数回の起動、または何らかの理由で既に常駐プログラムが起動されている場合は後から起動されたものは無視されますので二重起動の心配はありません。

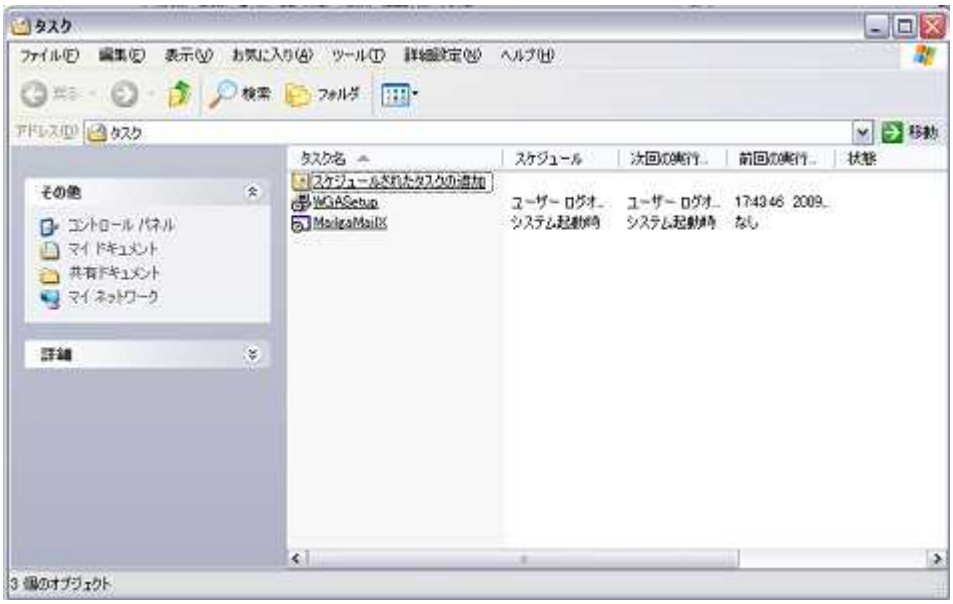
2．停止方法

(ア) MedilgaMail から「開始」ボタンを押した場合。
特に何もする必要はありません。システムを再起動します。

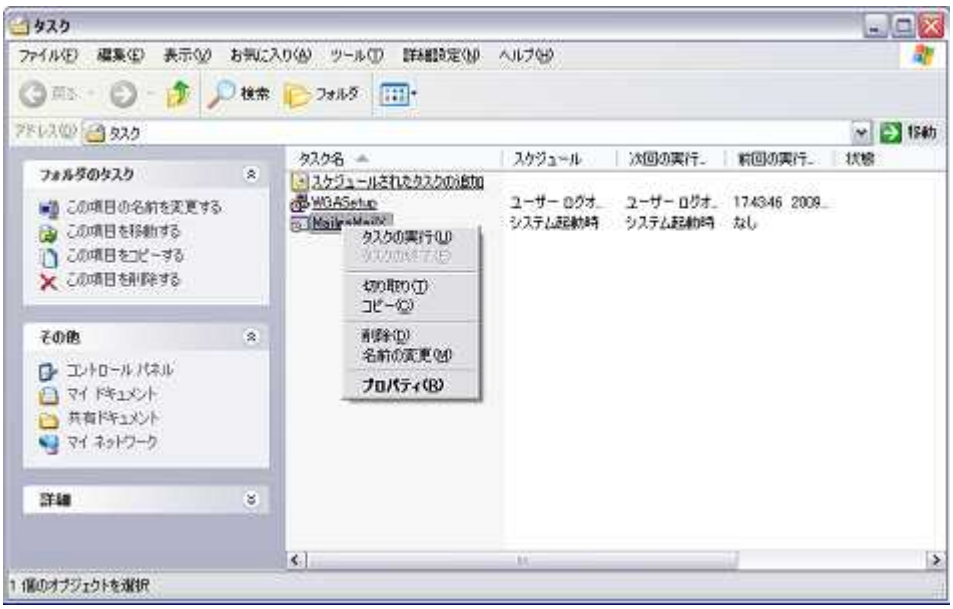
(イ) ショートカットをスタートアップに入れた場合。
スタートアップから「MailgaMailX.exe」を削除し、システムを再起動します。

(ウ) タスクスケジューラに登録した場合。

① スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システム　ツール」→「タスク」でタスクスケジューラを起動します。



② そこから「MailgaMaiX.exe」を削除します。



「MailgaMaiX.exe」を右クリックし、ドロップダウンメニューから「削除」をクリックします。

③ システムを再起動します。